

延岡しろやま支援学校 高千穂校「共生コース」の経営

(1) 学校の教育目標

「心豊かでたくましく地域社会で生きぬく力の育成」

(2) 高千穂校の経営方針

少人数編成を生かし、個に応じた細かく且つ柔軟な教育実践を行うとともに、地域の特色を生かした交流及び共同学習を展開することにより、地域社会で生きぬく力を育てる。

また、西臼杵地区におけるセンター的役割の推進に努める。

(3) 高千穂校の経営ビジョン

3つの重点項目

- 「社会に開かれた教育課程」の具現化を目指した「カリキュラム・マネジメント」の推進
- 子供の学びを支え、可能性を最大限に伸ばす教育環境の整備
- 「学校の信頼回復」と「働き方改革」

1 「チャイルド・ファースト&チャレンジド・ファースト」を柱とした学校運営

① 子どもの権利条約、障害者権利条約の理解促進と人権感覚の涵養を図り、併せてコンプライアンス遵守及び言語環境の整備を行う。

② 校訓及び新しい生徒像に基づく教育活動の充実

「表現」…自ら考え、自分らしく表現する子ども (思考力・判断力・表現力等)

「実践」…学んだことを生かし、実践することも (知識・技能)

「挑戦」…夢を持ち、自ら挑戦する子ども (学びに向かう人間性等)

2 「社会に開かれた教育課程」の具現化を目指した3つの視点(しろやまOPQ)によるカリキュラム・マネジメントの推進(アレンジ力)

【3つの視点(しろやまOPQ)】

O…Original (オリジナル) 恵まれた教育資源を生かした、高千穂校ならではの教育実践
P…Pride (プライド) 西臼杵のセンター校としての矜持(きょうじ)を示す取組
Q…Quality (クオリティー) 卒業後の豊かな生活を支える生涯学習の推進

① 卒業後の視点を大切にしたカリキュラムマネジメント

- ・ 将来の自立や社会参加の基礎となる意欲と力を育てるため、地域の企業、福祉施設等や地域の人々と関わり、つながる(つなげる)教育活動の創造を図る。
- ・ 幼児児童生徒の社会参加と自立に対する全職員の共通理解を図り、幼稚部から高等部まで一貫したキャリア教育の推進を推進する。

② 複数障がいに対応した特別支援学校教職員としての専門性の向上

- ・ 「聴覚障がい」「知的障がい」「肢体不自由」に関する「基本となる障がいの理解」の徹底を行う。
- ・ OJTの推進、外部専門家の活用等を通して、専門的指導力の向上を図る。
- ・ オンライン研修や自主研修等のOFFJTを推進し、研修の機会の充実を図る。
- ・ 学びの保障を行うためにICT機器の利活用を積極的に行う。

③ スポーツ・文化芸術活動の推進

- ・ 教育活動の工夫を行い、参加・発表の機会の充実を図る。
- ・ 外部機関との連携やICT活用による作品展や校外販売等の実施を推進する。

3 子供の学びを支え、可能性を最大限に伸ばす教育環境の整備

① ICT教育の推進と活用

- ・ オンライン授業や遠隔授業等を取り入れながら、生徒の可能性を最大限に伸ばす教育活動の推進を図るとともに効果的な活用を行う。

② 感染症や災害の発生への対応

- ・ 学習指導、生徒指導、災害時対応等の視点から、環境の整備及び校内美化を行う。
- ・ 防災委員会等を中心とした感染症対策や災害時対応、危機管理対応の強化を行う。

4 「学校の信頼回復」と「働き方改革」

① 「不祥事は絶対起こさない。」という強い覚悟と「高い倫理意識」をもって、学校の信頼回復を行う。事案発生時には、管理職が責任をとり、全職員に情報提供を行う。

② ホームページ、ツイッター、新聞、テレビ等を活用して、高千穂校の発信を積極的に行う。

③ 業務の「見える化」やICT活用、有効的な時間活用により事務作業等の効率化を図り、質の高い教育活動ができるような「働き方改革」を推進する。